

新宿建築100景を歩く

Walk through the 100 architectural views of Shinjuku

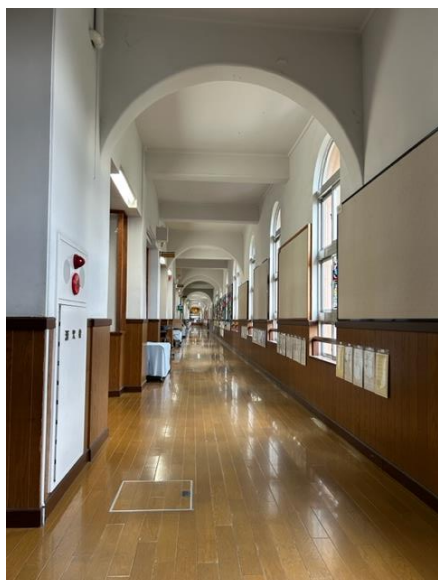
「新宿建築 100 景」を巡る歴史散歩の 4 回目は、
今からちょうど 100 年前、関東大震災(1923 年)の
復興事業として建てられた新宿区立早稲田小学校です。

早稲田小学校は明治 33 年(1900 年)に開校。児童数は大正時代、
1000 人を超えていました。関東大震災後、校舎は倒壊を免れたもの
の、大規模改築が行われ、今に続く校舎が建てられました。

正面性を意識した左右対称の外観、アーチ形の窓、外壁上部の化
粧窓風の穿孔部(せんこうぶ) =それぞれ写真=など明治時代に流行
したデザインをふんだんに盛り込んでいるそうです。

設計者は、銀座和光の設計を手掛けた著名な建築家の渡辺仁氏。
風格ある外観は、歴史に彩られたこの地にふさわしいように思えま
す。校史によると、「東洋一立派な校舎」として、当時毎日のように
見学の人が訪れていたそうです。

第二次世界大戦の東京大空襲で校舎の四分之三が焼け落ちました
が、復興を遂げ創建当時の姿を今もとどめています。



波多江誠校長先生に校内を案内して
いただきました。

長く続く廊下のアーチ形天井は美し
く、木や石の重厚さを感じられる階段
をのぼり屋上に出ると、壁の装飾の凝
った模様が目に飛び込んできます。

平成 2 年に改修工事が行われました
が、100 年前の装いがそのまま生かさ
れました。

伝統ある校舎は児童たちの自慢であり、「古いけど大好き」という子どもが多いといひます。保護者アンケ
ートでも「昔からのものを大事に使っていますね」との感想が寄せられるそうです。

最近になって、構内にある古い井戸を洗浄して再利用することが決まったといひます。井戸から水をくみ上
げる経験は、子どもたちにとってかけがえのないものになりそうです。

早稲田小学校周辺

小学校のある早稲田南町は、明治後期からこの地に住んでいた文豪、夏目漱石
終焉の地であり、漱石山房記念館が近くにあります。

記念館は、漱石生誕 150 年に当たる平成 29 年(2017 年)に区が開設しました。
隣接する漱石公園には漱石胸像と「猫の墓」があります。

【新宿区立早稲田小学校】

〒162-0043 東京都新宿区早稲田南町 25



校舎の上部には装飾模様があります。